

令和8年度 第5号

天小だより

命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校

令和8年9月4日

伊丹市立天神川小学校

校長 徳田 達郎



ホームページ

校内教育支援センター「ひだまりルーム」Q&A

天神川小学校では、「全ての児童の学習権を保障するための取組」の1つとして、校内教育支援センター「ひだまりルーム」を設けています。今回は、これまで保護者の方からご質問の多かったものを取り上げ紹介いたします。

Q1:「ひだまりルーム」とはどのような場所ですか？

「ひだまりルーム」は、児童が「教室に行くのはちょっと…」となっているとき、家に閉じこもってしまうのではなく、学校に足が向かうように、リズムづくりをするための場所です。また、教室へ上がっていくためのエネルギーをチャージする場所です。

Q2:「ひだまりルーム」を利用するにはどうすればよいですか？

担任の先生、生活指導担当の谷林先生、安井教頭先生のいずれかにご相談ください。

Q3:希望から、利用開始までの手順はどうなっていますか？

保護者の希望と児童の実態をふまえて、担任、学年、生活指導担当、教頭、校長で、利用が可能かどうか検討します。その後、保護者、児童同席での面談を行い、ひだまりルームのルールや利用方法について説明します。利用開始後も、月に1回程度、利用状況に合わせて、利用の様子や今後の課題、改善点について保護者と面談を行います。

Q4:「ひだまりルーム」を利用できる時間は？

基本的に、8時30分から15時15分までです。

Q5:「ひだまりルーム」は誰が見てくださるのですか？

不登校支援員、生活指導担当教員、子どもサポーター(大学生)などです。

Q6:「ひだまりルーム」ではどのような活動ができますか？

ひだまりルームで児童自身が何に取り組みたいかを考え、計画表に記入して活動します。

具体的な活動内容の例としては、以下のようなものがあります。

- ①学習に関するもの
- ②読書
- ③ひだまりルームに置いてあるジグソーパズル、ボードゲーム、工作、卓球
- ④プランターや学習園で野菜の栽培

Q7:「ひだまりルーム」ではどのように学習をしますか？

- ①児童が自分で用意した教材で学習し、わからないことがあれば在室している教師が教えます。
(一斉授業は行いませんが、黒板やホワイトボードを使った指導は可能です)
- ②国語・算数の基本的なプリント(四則計算、ことばの学習、漢字など)を用意しています。
- ③学年相当の学力を保つために漢字・文法、四則計算・文章問題に取り組んだり、理科の実験動画を視聴したり、NHKfor スクールを活用して社会の調べ学習をしたりできます。
- ④「ちびむすドリル」「みらいシード」などの教材も利用できます。

Q8:「ひだまりルーム」利用時の給食はどのようにになりますか？

給食は、児童自身がクラスに取りに行き、食べ終わったら自分で返しに行くのが原則です。

クラスに行くのが難しい場合は、職員室前で受け取り、返却することなどもできます。

Q9:子どもの欠席が増えた場合、学校はどのような対応をしますか？

登校しぶりの傾向による欠席が【10日】を超えた段階で、担任、学年、生活指導担当、教頭、校長で、今後の方針を検討するためのケース会議を行います。その後、保護者との面談を行います。面談では、児童や保護者の困り感に寄り添いながら、スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーとの連携も視野に入れ、何から取り組んでいくかを保護者と一緒に考えます。

いかがでしたでしょうか。

ご質問がございましたら、担任の先生、生活指導担当の谷林先生、安井教頭先生まで、お気軽にお問い合わせください。